令和８年８月７日

令和８年度　学校関係者評価報告書

学校法人大原学園
大原簿記ビジネス公務員専門学校京都校
学校関係者評価委員会

学校法人大原学園 大原簿記ビジネス公務員専門学校京都校 学校関係者評価委員会を、令和７年度自己点検・評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下の通り報告いたします。

１．実施日
令和８年８月６日（木）　15:30～16:20

２．参加者
（学校関係者評価委員）
土肥　豊　　氏（一日一笑税理士事務所　税理士、卒業生）
郡　雄一　　氏（青山商事株式会社）
森本　貴之　　氏（稲荷山武田病院）
久保田　征艦　氏（京都府行政書士会　行政書士）
竹本　均　　氏（株式会社　サップス）
吉本　美枝　　氏（京都府歯科衛生士会）
（事務局）
内田　康則（大原学園京都校　校長）
今西　智也（大原学園京都校　部長代理）
西島　貴之（大原学園京都校　課長）
石橋　清隆（大原学園京都校　課長）

３．会議録
（１）校長より挨拶

（２）今西より令和７年度自己点検・評価の概要説明
①令和７年度学校関係者評価委員会のご助言事項に関する取り組み
②令和７年度自己点検の評価ポイントおよび変更点

（３）学校関係者評価委員よりの評価・提言
①学修成果　中項目 15　卒業生の社会的評価について
挨拶運動などは非常に良い取り組み。病院では年 1 回全職員が接遇について自己評価をする仕組みがある。学校でも継続できるような仕組みがあればいい。

②学生支援　中項目 21　卒業生・社会人

社会にも同職業の交流や専門技術や知識の向上をサポートしている団体があるので、在学中に案内を行い卒業後の専門職としての更なる成長を促してもよいのではないか。

③学生の募集と受け入れ　中項目 25　学生募集活動

18 歳人口が減少する中、入学希望者が減少している原因を把握するべき。就職実績、合格実績は他の教育機関より良い状況であるから、高校生の動向を探るべきである。

④社会貢献・地域貢献　中項目 36　社会貢献・地域貢献

地域清掃は良い取り組みである。今後は大きな団体が実施する活動（例：祇園祭り等）に参加してはどうか。

⑤社会貢献・地域貢献　中項目 37　ボランティア活動

学校は環境づくりをメインとし。ボランティア活動の案内や活動内容を報告する掲示板等を準備してはどうか。

上記ご意見を頂戴した項目につき、適宜対応するとともに、その他の項目につき適切に運営・評価されているとのご意見を頂戴した。

４．学校関係者評価委員会総括

学校関係者評価委員会において、令和 7 年度自己点検・評価の内容及び本校の教育活動について協議いただいた。委員からは、本校の取り組みに対して一定の評価をいただくとともに、今後の教育活動及び学校運営の改善に向けた貴重なご助言をいただいた。

学修成果に関しては、挨拶運動などの取り組みが高く評価された一方で、社会人として必要な接遇やマナーについて、学生が継続的に自己評価できる仕組みづくりが望まれるとの意見があった。

学生支援については、卒業後も専門職として成長し続けられるよう、専門職団体や職能団体等の情報提供を在学中から行い、生涯学習や専門性向上への意識を醸成することが期待された。

学生募集活動については、18 歳人口の減少や進路選択の多様化が進む中、入学希望者減少の要因分析を行い、高校生のニーズや動向をより的確に把握した上で募集活動を展開する必要性が指摘された。また、就職実績・合格実績など本校の強みを効果的に発信していくことの重要性も示された。

社会貢献・地域貢献については、地域清掃活動が評価されるとともに、地域社会との連携をさらに深めるため、祇園祭をはじめとした大規模な地域行事や団体活動への参加についても検討してはどうかとの提言があった。

ボランティア活動については、学校が活動しやすい環境整備に努めるとともに、ボランティア情報の提供や活動報告を共有できる掲示板等を整備し、学生の自主的な参加を促進する仕組みづくりが求められた。

これらのご意見・ご提言を踏まえ、今後も教育の質向上、学生支援の充実、地域社会との連携強化に努め、より魅力ある学校づくりを推進していく。

以上